

証券コード 3064



株式会社MonotaRO

会社概要

2009年12月期第3四半期

目次

- I 当社概要
- II 2009年12月期第3四半期決算の概要
- III 2009年の見通し

本資料に記載の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

I 当社概要

I -1 当社概要

■ 主な事業内容

インターネット等を利用した工場・工事用間接資材、自動車アフターマーケット商品の通信販売
(商品点数：100万点・うち4万8千点が在庫商品)

■ 販売商品の特徴

種類は多岐にわたり、顧客にとっては価格よりも利便性が重要

■ 主な競合

訪問工具商・金物屋・自動車部品商等

■ 主な顧客層

製造業・工事業・自動車整備業等(中小企業が中心顧客)

■ 市場規模

5～10兆円

■ 2008年度売上

140億円

■ 経営戦略

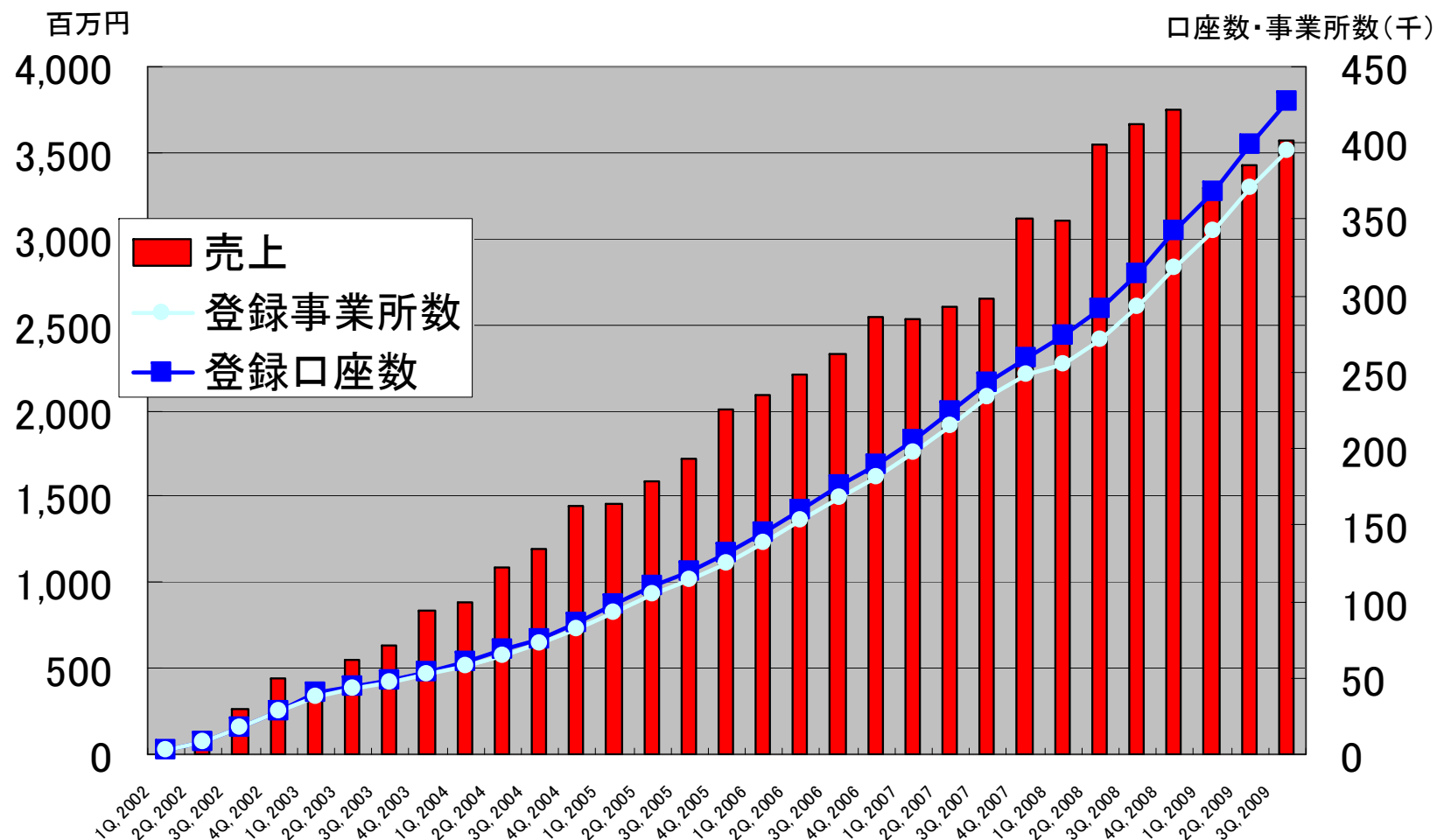
- (1) インターネットを利用した通信販売で規模の経済を実現し、幅広い商材と高い検索性で差別化を図る。
- (2) 累積する受注・顧客データベースを整備分析したマーケティングで顧客の囲い込みを図る。
- (3) 自社にてのソフト開発からコンテンツ制作までを行うことで高い生産性をあげる。

■ 課題

顧客にとって興味のない市場で知名度をあげ、市場に浸透すること。
成長にあわせたインフラストラクチャーを構築すること。

I - 2 過年度の業績推移 - 1

売上高と顧客数の推移

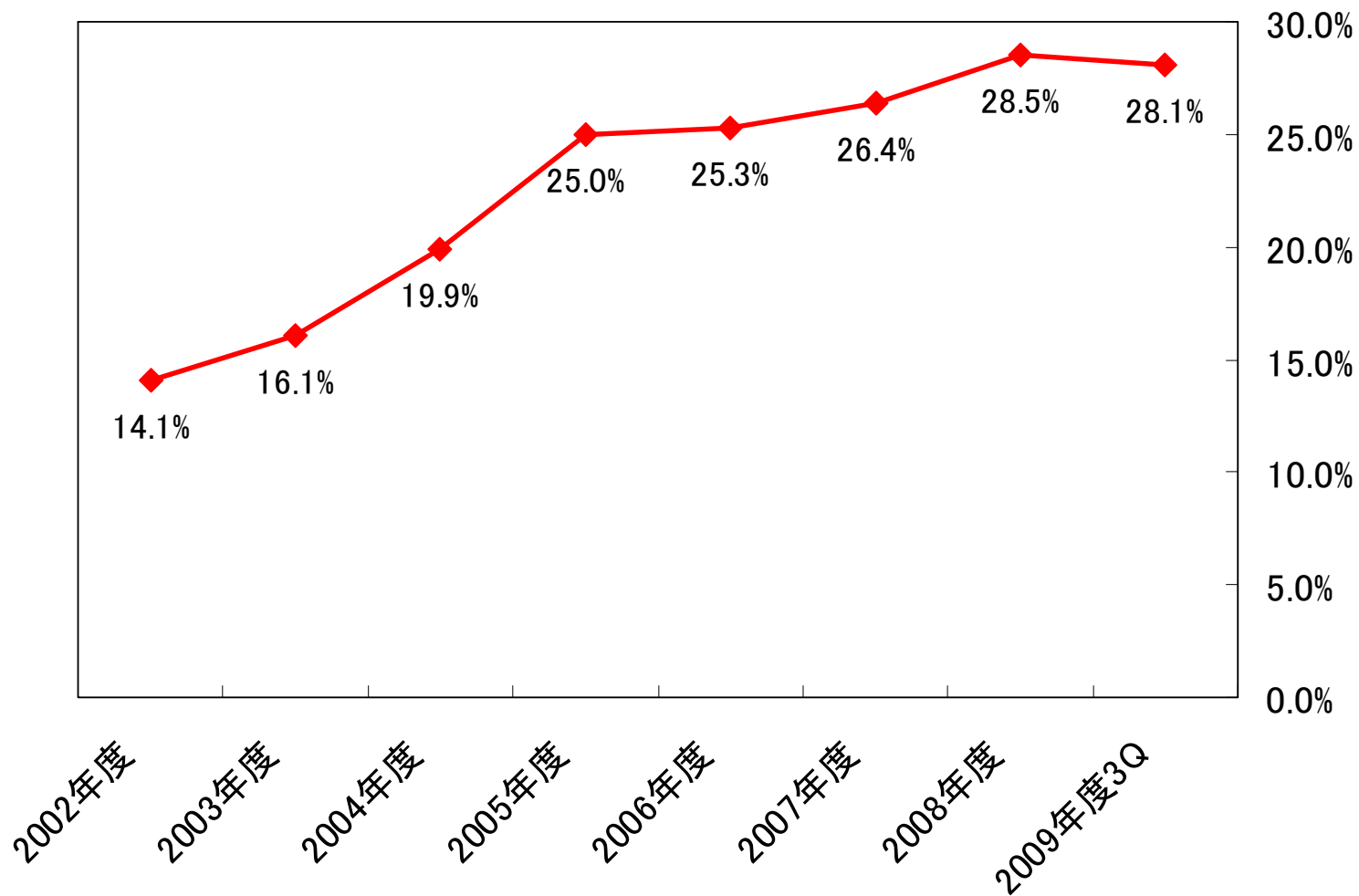


今期より登録顧客数について公表数を従来の事業所数から口座数に変更致します。1事業所が複数の口座を登録されることがあります。2008年12月から2009年9月までの登録事業所数・口座数の推移は以下の通りです。

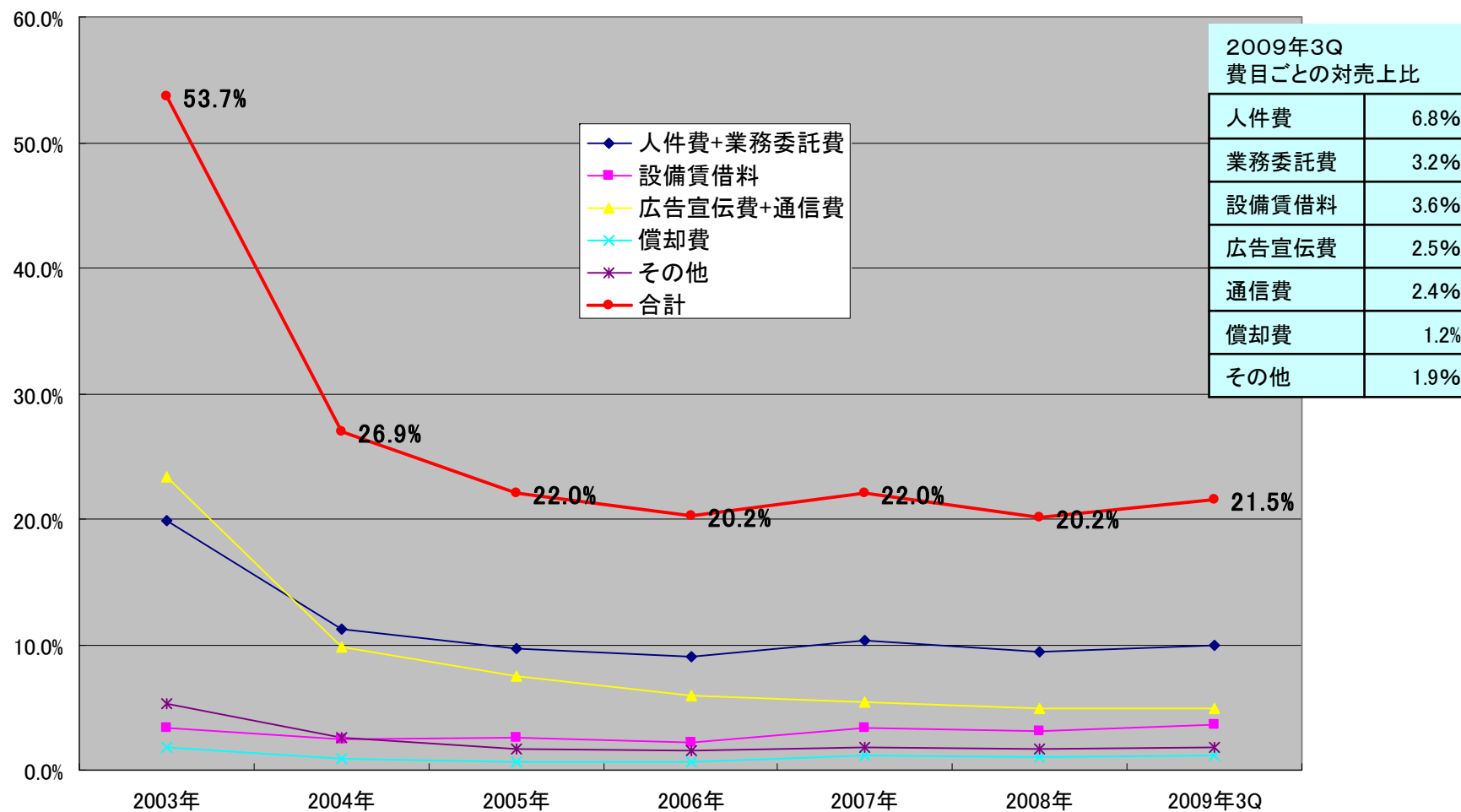
2008年12月	事業所数	319,561	→	2009年9月	事業所数	394,921 (75,360増加)
	口座数	342,761			口座数	427,091 (84,330増加)

I - 2 過年度の業績推移 - 2

売上総利益率の推移



I - 2 過年度の業績推移 - 3 販売管理費の売上比率推移



Ⅱ 2009年第3四半期決算の概要

Ⅱ - 1 実績比較表

	2008年第3四半期実績		2009年第3四半期実績			2008年第3四半期累計		2009年第3四半期累計		
	金額(千円)	売上高比率	金額(千円)	売上高比率	前年比	金額(千円)	売上高比率	金額(千円)	売上高比率	前年比
売上高	3,668,661	100.00%	3,566,511	100.00%	97.2%	10,318,753	100.00%	10,290,038	100.00%	99.7%
売上総利益	1,059,073	28.87%	1,000,168	28.04%	94.4%	2,942,633	28.52%	2,896,596	28.15%	98.4%
販売管理費	810,661	22.10%	759,671	21.30%	93.7%	2,047,634	19.84%	2,213,426	21.51%	108.1%
営業利益	248,411	6.77%	240,498	6.74%	96.8%	894,998	8.67%	683,170	6.64%	76.3%
経常利益	257,415	7.02%	248,752	6.97%	96.6%	917,201	8.89%	691,090	6.72%	75.4%
当期純利益	275,874	7.52%	140,747	3.95%	51.0%	916,714	8.88%	392,080	3.81%	42.8%

II-2 貸借対照表サマリー

		2008年12月		2009年9月				2008年12月		2009年9月	
		(千円)	構成比	(千円)	構成比			(千円)	構成比	(千円)	構成比
資産の部						負債の部					
流動資産	現預金	1,724,549	27.7%	1,322,785	23.7%	流動負債	支払手形及び買掛金	1,411,736	22.7%	1,273,055	22.8%
	受取手形・売掛金	1,611,242	25.9%	1,565,921	28.0%		短期借入金			800,000	14.3%
	棚卸資産	1,557,783	25.0%	1,404,943	25.1%		その他	628,805	10.1%	742,713	13.3%
	貸倒引当金	▲ 20,436	-0.3%	▲ 17,769	-0.3%	流動負債合計	2,040,543	32.7%	2,815,770	50.4%	
	その他	593,061	9.5%	515,646	9.2%	固定負債	—	—	—	—	
流動資産合計		5,466,201	87.7%	4,791,527	85.7%	負債合計	2,040,543	32.7%	2,815,770	50.4%	
固定資産	有形固定資産	203,991	3.3%	177,400	3.2%	純資産の部					
	無形固定資産	378,159	6.1%	447,329	8.0%	株主資本	資本金	1,675,849	26.9%	1,681,806	30.1%
	投資その他資産	183,082	2.9%	171,846	3.1%		資本剰余金	480,387	7.7%	486,344	8.7%
固定資産合計		765,233	12.3%	796,576	14.3%		利益剰余金	2,034,653	32.7%	597,184	10.7%
資産合計		6,231,434	100.0%	5,588,104	100.0%		自己株式			▲ 119	0.0%
						株主資本合計	4,190,891	67.3%	2,765,216	49.5%	
						新株予約権	—	—	7,117	0.1%	
						純資産合計	4,190,891	67.3%	2,772,333	49.6%	
						負債・純資産合計	6,231,434	100.0%	5,588,104	100.0%	

2009年8月7日の自己株式取得により利益剰余金が1,599百万円減少、取得にあたり一部借入を実施したことにより短期借入金が800百万円増加、また現預金はこれらによる799百万円の減少の影響で401百万円の減少。

Ⅱ-3 キャッシュフローサマリー

区分	2008年12月期 (千円)	2009年12月期第3四半期 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,173,407	690,191
売上債権の増減額	▲ 221,340	45,320
棚卸資産の増減額	▲ 328,004	152,451
仕入債務の増減額(△減少)	178,498	▲ 135,490
その他	244,497	12,044
計	1,047,058	764,517
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産取得による支出	▲ 69,925	▲ 18,183
無形固定資産取得による支出	▲ 187,108	▲ 147,847
その他取得による支出	▲ 46,482	16,595
計	▲ 303,515	▲ 149,435
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の純増減額		800,000
ストックオプションの行使による収入	1,050	11,913
自己株式取得による支出		▲ 1,599,619
配当金の支払い額		▲ 229,140
計	1,050	▲ 1,016,846
IV 現金及び現金同等物の増減額(△減少)	744,593	▲ 401,764
V 現金及び現金同等物の期首残高	979,955	1,724,549
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,724,549	1,322,785

Ⅱ-4 セグメント別売上

(単位:百万円)

	2008年通期	構成比	2008年 第3四半期	構成比	2009年 第3四半期	構成比
工場消耗品	7,119	50.61%	5,262	51.00%	5,169	50.23%
工場交換部品	4,728	33.61%	3,428	33.22%	3,608	35.06%
その他	2,220	15.78%	1,627	15.77%	1,511	14.68%
合 計	14,067	100.00%	10,318	100.00%	10,290	100.00%

Ⅲ 2009年の見通し

Ⅲ-1 2009年度予想修正に関して

■売上高 14,231百万円

製造業既存顧客の売上が予想以上の落ち込みであること、新規顧客は順調に獲得し、注文数は順調に増加しているもののやはり需要の減退により売上は既存顧客の落ち込みを補うには至らず、当初予想を修正し7.8億円減、昨年比1.2%増とした。

■売上総利益 3,993百万円

商品ミックスの効果で売上総利益率は当初予想より若干高めに推移しており、予想を0.3%改善とした。

■販売管理費 3,032百万円

人件費+業務委託費を圧縮し、当初予想より1.2億円減、昨年比6.8%増。

■営業利益 961百万円

売上高減の影響で、当初予想より55百万円減、昨年比17.7%減。

Ⅲ-2 2009年12月期業績予想

科 目	2008年12月期 実績		2009年12月期 当初予想			2009年12月期修正予想		
	金 額 (千円)	売上高比率	金 額 (千円)	売上高 比率	対前年比	金 額 (千円)	売上高 比率	対前年比
売上高	14,068,391	100.00%	15,012,636	100.00%	107.0%	14,231,501	100.00%	101.2%
売上総利益	4,007,324	28.48%	4,175,329	27.81%	104.0%	3,993,671	28.06%	99.7%
販売管理費	2,838,601	20.18%	3,158,829	21.04%	111.0%	3,032,157	21.31%	106.8%
営業利益	1,168,722	8.31%	1,016,500	6.77%	87.0%	961,514	6.76%	82.3%
経常利益	1,196,172	8.50%	1,003,141	6.68%	84.0%	934,650	6.57%	78.1%
当期純利益	1,120,013	7.96%	567,792	3.78%	51.0%	531,104	3.73%	47.4%
1株当たり当期 純利益(円)	24,346		61.70(※1)			62.87(※2)		

(※1)は第2四半期期末時点での2009年度予想平均発行株式数9,202,000株、

(※2)は第3四半期期末時点での2009年度予想平均株式数8,447,066株にて計算

2009年8月17日付で、自己株式消却による1,828,000株の減少、2009年9月16日付ストックオプションの行使による20,400株の増加により2009年9月30日時点の発行済み株式数は7,394,400株です。

1. 新規顧客獲得

新規顧客獲得の最大のチャンスと捉え、インターネット・ダイレクトメールによる販促を強化し、月間新規顧客獲得1万事業所の為のプロモーションを展開。

2. 輸入消耗品の強化

顧客は従来以上に安い商品を求めており、PBや輸入商品売り込むチャンス。特に自動車アフターマーケット向において注力する。

3. 効率的プロモーションによるコスト削減

- (1) カタログ分冊化で必要な人に必要な組み合わせのカタログを送付。
- (2) DTPによる1to1でのチラシを作成
- (3) データマイニング強化・キャンペーンマネジメントツールの導入によりプロモーションの効率化を推進。

4. 購買頻度の維持

注文単価が一時的に低下しても、顧客の購買習慣が残れば好況時に飛躍できるため、売上より購買頻度の維持を優先。

5. 物流センターの最適化

急成長時には困難であった物流センターの効率の最適化を図り景気回復時の急成長に耐えられるインフラを構築。

お問い合わせ

<本資料ならびにIRに関するお問合せ>

管理部 担当 山崎

TEL 06-4869-7111

FAX 06-4869-7178

E-mail: yamazaki@monotaro.com